

vol.54-06 (通算 615号)

2024年9月号

やどかり

2024年9月15日発行

(毎月1回15日発行)

1987年12月19日第三種郵便物認可

発行人 公益社団法人やどかりの里

代表者 増田 一世

〒337-0043 さいたま市見沼区中川 562

TEL 048 - 686 - 0494

FAX 048 - 747 - 7030

URL <https://www.yadokarinosato.org/>

定価 50円 (含会費)

旅するゾウさん

ゾウの絵が織りなす笑顔の地域交流



「未来を拓く つなぐ・つくるプロジェクト」は、2024年4月より「旅するゾウさんプロジェクト」に参加しています。このプロジェクトでは、大きなキャンバスに描かれた愛らしいゾウの絵を全国各地のイベントや展示で紹介し、新たな出会いと交流を育んでいます。

やどかりの里と「旅するゾウさん」が初めて出会ったのは、5年前に明石農園（埼玉県三芳町）が主催した「雑木林の演奏会」でした。その演奏会で、林の中に展示されていたゾウの絵を見たとき、その優しさと温かさが心に深く響き、この感動を他の人たちにも伝えたいと感じました。

「旅するゾウさんプロジェクト」は、あるカフェで1人の女性が偶然この絵に出会ったことから始まりました。彼女はその美しさに心を奪われ、思わず絵を購入しました。そして、この絵が持つ心地よさや癒しの力を多くの人たちと分かち合いたいと思い、創作した画家と協力して無償で絵を貸し出す活動を始めたのです。この活動は、絵が持つ魅力を通じて次第に広がっていきました。

やどかりの里もこの活動に共感し、3年前に一度、そしてエシカル cafe「としょかんのとなり」の1周年記念イベントで、再びこの絵を展示する機会を設けました。

法人の総会後に行われた畑泰枝さんのミニコンサートでは、「旅するゾウさん」の絵を会場に移動させ、トイピアノとのコラボレーションが実現しました。トイピアノの素朴で不完全な響きは、誰もが完璧である必要はな

いというメッセージを伝えるかのように、ゾウの絵の温かさや優しさを一層引き立てました。壊れかけた音や調律のずれた音が、それぞれ異なりながらも見事に調和し、絵の柔らかな色彩と穏やかな表情と相まって、観客に独特の温かみと安心感を与えました。アンコールの演奏にはメンバーも加わり、それぞれの個性が音楽に加わることで、さらに深い感動が生まれました。この共演により、ゾウの絵は単なるアート作品を超え、音楽と融合することで豊かな物語を語り始めたのです。

その後、横瀬町で開催された家族会「秩父市心和会」の50周年記念行事でも、ゾウの絵とトイピアノの共演が実現し、多くの方々に深い感動を届けました。ゾウの絵の優しさとトイピアノの一音一音が、心に寄り添い、困難を和らげるように響きました。この共演を通じて、家族会とやどかりの里がつながる機会が生まれ、お互いの活動に対する理解と共感がさらに広がりました。

「旅するゾウさん」は、訪れる場所ごとに新しい出会いと感動を生み出しています。これからも、多くの人の笑顔に包まれながら、その旅が続いていくことを心から願っています。ぜひ、お近くのイベントや展示でこの絵に触れ、その魅力を感じてみてください。活動に関する詳しい情報や展示予定は、上記のQRコードからご確認いただけます。皆様と共に、この活動をさらに広げていけることを楽しみにしています。

(宗野 政美)